

ライブラリー・ニュース

# L.N.

2020年8月号

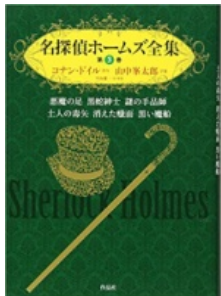
3-6 3-6

発行 図書委員会 担当 野田・持原・司書



## 『さよなら、ママ』エリザベス・ツェラー著 (徳間書店)

主人公の女の子ドードーは、ママ・パパ・七歳の弟の四人家族でした。ママは病気を患っており、すぐに手術をしなければいけませんでした。ドードーは誕生日にもらった日記帳にたくさんのことを書きました。日常のたわいもないことをたくさん書きました。それから、ママの病気はもう治らないことがわかってそれをまだ幼いドードーが受けとめたことも書きました。ママの病気により、家族の大切さや十三歳の主人公の成長を描いた感動的な物語です。



## 『名探偵ホームズ全集3 悪魔の足』コナン・ドイル著 (作品社)

この本は主人公シャーロックホームズが助手のワトソンとさまざまな奇妙な事件の謎を解いていくお話です。

一つ目のお話が悪魔の足です。ある四人兄弟の三人が薬を飲みおかしくなります。例えば、バケツ一杯分の量のゲロを吐いたり、脳が働かなくなったりする症状が出ます。この症状により、悪魔の足とよばれるようになりました。しかし、生きている一人も何者かによって殺されます。一体誰が殺したのでしょうか？ ぜひ読んで見て下さい！



## 『天使の耳』東野圭吾著 (講談社文庫)

深夜に起こった交通事故。信号無視をしたのはどちらか。

死んだドライバーの妹が思いもよらぬ力を発揮する。

娘をとある事故で殺された夫婦は、同じ方法で相手に復習しようとする。

交通事故を題材とした連作ミステリー。



## 『十角館の殺人』綾辻行人著 (講談社文庫)

約半年前、奇妙な建物ばかり建設していた天才建築家・中村青司が孤島で謎の死を遂げる。その島にある彼の作品「十角館」に10人の大学生が宿泊。しかし、彼らは1人ずつ殺されていく。島と本土、2つの視点が物語を織り成す本格ミステリー！